

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 6116

件名	公共下水道39分区枝線工事(再公告)	
履行場所	海老名市杉久保北三丁目地内	
工期	令和6年5月21日～令和6年8月30日(102日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	4,752,000円(税込)	4,320,000円(税抜)
最低制限価格	有り(事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札(電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が4千5百万円(建築一式工事の場合は7千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第1区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり(第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類(専任技術者証明書など)	

# 案内図

工事名称 : 公共下水道39分区枝線工事

工事場所 : 海老名市 杉久保北三丁目 地内



# 工 事 説 明 書

( 特 記 仕 様 書 )

工 事 件 名 : 公 共 下 水 道 39 分 区 枝 線 工 事  
処 理 分 区 名 : 39 分 区  
工 事 場 所 : 海 老 名 市 杉 久 保 北 三 丁 目 地 内

## 1. 目 的

- 本 工 事 は、公 共 下 水 道 を 整 備 す る こ と に よ り、地 域 住 民 の 衛 生 環 境 の 保 全 及 び 公 共 用 水 域 の 水 質 保 全 を 図 る た め に 実 施 す る も の で す。

## 2. 工 事 概 要

工 事 延 長 L=53.6m

1. 管渠工	1.0式	1. 付帯工	1.0式
1. マンホール工	1.0式	1. 仮設工	1.0式

## 3. 仕 様 (施 工 管 理)

- 本 工 事 は、海 老 名 市 土 木 工 事 共 通 仕 様 書 及 び 海 老 名 市 土 木 工 事 施 工 管 理 基 準 に 基 づ き 施 工 す る こ と。
- 型 枠 材 料 に つ い て は、熱 帯 雨 林 材 の 使 用 を 避 け る こ と。
- 原 則 と し て、ア ス ベ ス ト を 原 料 と し な い 建 材 を 用 い て 施 工 す る こ と。  
又、使 用 材 料 に つ い て、ア ス ベ ス ト を 原 材 料 と し て い な い 旨 の 証 明 書 を メ ー カ ー よ り 提 供 さ せ、監 督 職 員 の 確 認 を 得 る こ と。  
な お、再 生 砕 石 (RC-40) を 使 用 す る 場 合 は、必 ず「ア ス ベ ス ト 不 使 用 証 明 書」を 提 出 す る 事。
- 海 老 名 市 公 共 工 事 デ ジ タ ル 写 真 管 理 要 領 に 基 づ き 工 事 写 真 を 作 成 し 提 出 す る こ と。
- 本 工 事 請 負 者 は、再 生 砂 (RC-10) を 使 用 す る 場 合、製 造 者 側 か ら 試 験 結 果 報 告 書 を 入 手 し、六 価 ク ロ ム に 係 る 環 境 基 準 の 適 合 確 認 を し た 上 で、監 督 員 に 報 告 書 を 提 出 し、確 認 を 受 け る こ と。
- 上 記 以 外 の 内 容 に つ い て は、監 督 員 と 協 議 す る こ と。ま た、施 工 計 画 書 に 明 記 し、監 督 員 の 承 諾 を 得 る こ と。

#### 4. 工程管理

##### ○ 契約工期

令和6年5月21日 ～ 令和6年8月30日

- 詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。
- 契約工期には現場施工期間のみではなく、書類作成や担当課検査期間(10日間)等を含むため、これらを十分に考慮した施工計画を作成し工程管理すること。

#### 5. 安全対策

- 道路使用許可条件(交通管理、施工時間等)を遵守すること。  
尚、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合は、監督員に連絡するとともに、交通管理者(所轄警察署)に連絡をする事。
- 工事区域の安全対策を十分に施し、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
- 特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないよう、安全対策(安全柵・チューブライト等により)を行うこと。  
※特に夜間の安全管理については、留意すること。
- 工事実施期間中に、高低差が生じた状態で現場を開放する場合(工事実施時間帯以外)には、必ず安全対策(看板設置・段差擦り付け・通行止め等)を講ずること。
- 風雨が強い場合、工事現場の見周りをを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

#### 6. 仮設備関係

- 仮設備(現場事務所等)の建設は、位置、規模等について監督員の承諾を得ること。
- 工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場等は、請負業者の負担とする。

#### 7. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用場合は、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- 一般道路を占用する場合は、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。
- 工事車両については、速やかに工事エリア内に誘導し、道路上では工事車両を待機させず、一般車両の通行を妨げることがないようにすること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

## 8. 建設副産物関係

- 建設残土の処分地は厚木市七沢受入地とする。  
場 所:厚木市七沢字吉原沢2323番地外  
業者名:浦田機械土木(株)七沢工場
- その他建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- 発生土の処分先と処分料については、受入れ先の都合により変更になる可能性があります。

## 9. 海老名環境マネジメントシステム関係

- 本工事は、当市のEMS公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、  
下表の事項に留意し施工すること。

作 業	配 慮 事 項
掘 削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生石材(RC-10・RC-40)を使用する。
コンクリート 取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
アスファルト 取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物	基礎材は、再生石材(RC-10・RC-40)を使用する。
路盤工	路盤材は再生石材(RM-40・RC-40)及び再生瀝青安定処理材を使用する。
舗装工	舗装材はリサイクル材を採用する。
工事作業機械 車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

## 10. その他

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。

又、主任技術者は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。

尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し明記すること。

- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。  
尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合、やむを得ず民地内に工事材料等を存置する場合は、必ず所有者の了解を得てから実施すること。
- 測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。  
  
又、工事完了後、道路台帳、用地実測図等に基づき現地に境界点を明示し、監督員と立会いを行うこと。
- 掘削位置直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要であれば地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告すること。
- 騒音、振動及び粉塵等工事沿線住民に対し不利益になりうることは、工事期間・時間及び施工方法を十分配慮し、施工に当たること。
- 現場から発生する不要物等が、宅地等民地部に飛散、流出等しないよう、必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 設計図書及び本仕様書に記載されていない事項については、監督職員と協議の上履行すること。
- 本仕様書の他に、『海老名市公共工事共通事項書』も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
- 提出書類については海老名市ホームページ内『工事提出書類様式集』を充分把握し、適正に作成すること。
- 本管布設後、監督員の立会いの元、管路の通りや浸入水等を確認した上で本復旧工を行うこと。
- 本管部における埋戻しについては車道部およびコンクリート舗装部において現場密度の測定を行うこと。
- 新型コロナウイルス関係 請負者は、下請等の関連会社を含め新型コロナウイルス対策に努めるとともに、罹患者が確認されたときには速やかに発注者に報告し、以降の工事施工について協議すること。
- 資材置場、現場事務所等の用により農地を一時的に使用する場合は、工事を実施する前に、本市農業委員会への届け出を行うとともに、許可書の写しを事業発注課に提出すること。また、工事完了後の返却時においては、監督員、現場代理人立会いのもと、現地の確認を行い請負者は完了届等の書類の写しを事業発注課に提出することとする。

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

### (趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

### (適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

### (処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

### (条件)

- 第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。
- 2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

### (提出書類等)

- 第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。
- 2 受注者は、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

### (その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

# 施工条件明示書（土木工事共通）

## 1、工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	公共下水道39分区枝線工事		
工事場所	海老名市 杉久保北三丁目 地内		
工事目的	本工事は、公共下水道を整備することにより、地域住民の衛生環境の保全及び公共用水域の水質保全を図るために実施するものです。		
工事概要	工事延長L=53.6m 1 管渠工…1式 2 マンホール工 …1式 3 付帯工 …1式 4 仮設工 …1式		
契約工期	令和6年5月21日	から	令和6年8月30日 まで
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県費	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算	工事 工事	

## 2、積算諸条件

主たる工種 : 下水道工事(2)

施工地域・工事場所区分 : 一般交通等の影響あり(2)

契約保証の方法 : 保証なし

施工パッケージの使用（一部使用含む）  有  無

### 【使用歩掛及び単価等】

<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	5年	7月
<input checked="" type="checkbox"/> 諸経费率	適用年版：令和	5年	7月
<input checked="" type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	5年版	
<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	6年	3月
<input checked="" type="checkbox"/> 刊行物	適用年版：令和	5年	10月
<input type="checkbox"/> 特別調査	適用年版：令和	年	月
<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等	適用年版：令和	5年度	
<input type="checkbox"/> その他	適用年版：令和	年	月



3、施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (他工事件名等) <input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等) <input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項) <input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (関係機関名) <input type="checkbox"/> 有
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input checked="" type="checkbox"/> 有 工事着手前に市道の埋設物調査(水道管)を行う事
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んである休日日数等作業不能日数について	<input type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等) <input checked="" type="checkbox"/> 有 益3日
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) 使用場所： 期間： <input type="checkbox"/> 有 借用条件： 復旧方法：
	3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話（埋設） <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 <b>工事施工中3名配置</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 <b>現場実施期間中</b>
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） <input checked="" type="checkbox"/> 有 名称：浦田機械土木（株）七沢工場 住所：厚木市七沢字吉原沢2323番地外 業者：浦田機械土木（株） ※【9】その他 5を参照
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ） <b>※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること。</b>
<p>※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。</p>			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 電柱 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）



令和6年度

公共下水道39分区枝線工事設計書

番 号	歩掛R5-7, 単価R6-3	施 工 年 度	令和5年度
名 称	公共下水道39分区枝線工事		
場 所	海老名市 杉久保北三丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 工事延長 L=53.6m  管渠工・・・・・・・・・・1式 管布設工 塩ビ管φ150 L=52.62m  マンホール工・・・・・・・・1式 1号マンホール：1箇所 0号マンホール：1箇所 小型マンホール：1箇所  付帯工・・・・・・・・・・1式 仮復旧工、道路付属物撤去工、排水構造物設置工  仮設工・・・・・・・・・・1式 交通誘導警備員	
設 計 区 分	39分区		
路 線 名			
期 間	令和6年5月21日～令和6年8月30日		
日 数	102日		
部 課 名	まちづくり部 下水道課		
積 算 担 当	管路施設係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			





# 間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	下水道工事(2)	工事日数	102日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	補正なし	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	補正なし	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

## 算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$



# 間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{対象額による率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$









B- 1号 1式当たり 明細書

管路土工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
人力掘削(床掘)	粘性土・砂・砂質土・埴質土	m <sup>3</sup>	2			C- 1号単価表
機械掘削工 (バックホウ)	土砂 山積0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	7			D- 1号単価表
機械掘削工 (バックホウ)	路盤 山積0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2			D- 2号単価表
機械投入埋戻工 (購入土)	RC-10 ハック杓山積0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	4			D- 3号単価表
機械投入埋戻工 (購入土)	RC-40 ハック杓山積0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1			D- 4号単価表
人力埋戻し+タハ 締固め	粘性土・砂・砂質土・埴質土	m <sup>3</sup>	2			C- 2号単価表
路盤材処理工		m <sup>3</sup>	2			C- 5号単価表
発生土処分工 (機械積込み)	4 t 積(良好)、山積0.28m <sup>3</sup> 積込	m <sup>3</sup>	4			D- 5号単価表
計						

B- 2号 管路布設工 1式当たり 明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm 施工規模20m以上	m	52			D- 6号単価表
砂基礎設置工 (機械施工)	施工規模10m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	0.9			D- 7号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ150	個	2			
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	2			
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	曲管(15° 又30° )コム輪受口 φ150	本	1			
排水用硬質ポリ塩化ビニル管曲管(小口)	曲管(90° )エルボ φ150	個	2			
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	自在曲管(75° ) φ150	個	3			
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	自在曲管(15° 又30° ) φ150	本	1			
カー継手 接着受口	Φ125 WTB	個	4			
硬質塩ビ蓋及び枠	Φ125	個	4			
下水道用硬質塩化ビニル管 直管	VU管フレンソント φ150, L=4m	本	1			
DV継手	90° 大曲 Y150*125	個	4			
計						





B- 4号 1式当たり 明細書

組立1号人孔工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	1号(内径900mm) 3m以下 施工規模 4 箇所未満	箇所	1			D- 10号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-25	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
調整リング	600×100	個	1			
組立1号マンホール 1種 5m以下	斜壁 60	個	1			
組立式マンホール(1号)	躯体ブロック 900×1200	個	1			
組立式マンホール(1号)	底版 有効高130	個	1			
削孔費 1号マンホール 1種 5m以下	塩ビ管 φ150	箇所				
削孔費 1号マンホール 1種 5m以下	塩ビ管 φ200	箇所				
底部工(組立式)	組立1号マンホール	箇所	1			D- 11号単価表
内副管取付工	段差1.0m未満、内径100～300mm	箇所	1			D- 12号単価表
計						

B- 5号 1式当たり 明細書

組立0号人孔工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	0号(内径750mm)、楕円 2m以下 施工規模4箇所未満	箇所	1			D- 13号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
無収縮モルタル	25kg	袋	2			
調整リング	600×150	個	1			
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×450	個	1			
組立式マンホール(0号)	躯体ブロック 750×900	個	1			
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	1			
計						



B- 7号		仮復旧工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断	A s	m	9				施工P-01	
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下							
舗装版切断工	コンクリート舗装版 15cm以下	m	3				C- 6号単価表	
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1				C- 7号単価表	
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1				C- 8号単価表	
舗装版破碎積込		m <sup>2</sup>	3				施工P-02	
運搬 (電線共同溝歩掛使用)	積載区分:アスファルト塊 DID区間の有無:有り 運搬距離:3.5km以下	m <sup>3</sup>	0.1				施工P-03	
廃材処理料(北部地区)	A S 殻	m <sup>3</sup>	0.1					
舗装版破碎積込	コンクリート舗装版	m <sup>2</sup>	1				施工P-04	
	舗装版種別:コンクリート舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要							
	舗装版厚:15cm以下							
下層路盤 (歩道部)	施工厚 t1=250mm、施工回数 N=2回	m <sup>2</sup>	4				施工P-05	
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:2層施工							



B- 7号明細書(施工P-01)  
 舗装版切断/A s

積算単位:m

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			6.05			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式 湿式/切削深20cm級 ブレード径φ56cm	供/日	4.09			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			55.50			
R 1	特殊作業員	人	19.28			
R 2	土木一般世話役	人	9.90			
R 3	普通作業員	人	8.33			
R 4						
R 5						
材料 Z			38.45			
Z 1	コンクリートカッタ(ブレード)/径56cm (径22インチ)	枚	35.21			
Z 2	ガソリン/レキユーター, スタンド渡し	ℓ	2.19			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{4.09}{100} \times \frac{6.05}{4.09} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{19.28}{100} \times \frac{55.50}{19.28+9.90+8.33} + \frac{9.90}{100} \times \frac{55.50}{19.28+9.90+8.33} + \frac{8.33}{100} \times \frac{55.50}{19.28+9.90+8.33} \right) \\
 & + \left( \frac{35.21}{100} \times \frac{38.45}{35.21+2.19} + \frac{2.19}{100} \times \frac{38.45}{35.21+2.19} \right) \\
 & \left. + \frac{100-6.05-55.50-38.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-02)  
舗装版破碎積込

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			5.13			
K 1	バックホ(クローラ、超小旋回型、クレーン機能付き) 賃料/山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 1.7t吊(排出ガス対策型含む)	日	5.13			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			92.12			
R 1	普通作業員	人	53.95			
R 2	土木一般世話役	人	22.88			
R 3	運転手(特殊)	人	15.29			
R 4						
R 5						
材料Z			2.75			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	2.75			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.13}{100} \times \frac{5.13}{5.13} \right) \times \frac{5.13}{5.13} \right. \\
 & + \left( \frac{53.95}{100} \times \frac{53.95}{53.95+22.88+15.29} + \frac{22.88}{100} \times \frac{22.88}{53.95+22.88+15.29} + \frac{15.29}{100} \times \frac{15.29}{53.95+22.88+15.29} \right) \times \frac{92.12}{53.95+22.88+15.29} \\
 & + \left( \frac{2.75}{100} \times \frac{2.75}{2.75} \right) \times \frac{2.75}{2.75} \\
 & \left. + \frac{100-5.13-92.12-2.75}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-03)

運搬(電線共同溝歩掛使用)

積載区分:アスファルト塊、DID区間の有無:有り、運搬距離:3.5km以下

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K		24.57			
K 1 タンポトラック オンロード・ディーゼル/4t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	24.57			
K 2					
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		61.06			
R 1 運転手(一般)	人	61.06			
R 2					
R 3					
R 4					
R 5					
材料 Z		14.37			
Z 1 軽油/パトロール給油	ℓ	14.37			
Z 2					
Z 3					
Z 4					
Z 5					
市場 S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{24.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{24.57}{24.57} \right. \\
 & + \left( \frac{61.06}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{61.06}{61.06} \\
 & + \left( \frac{14.37}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{14.37}{14.37} \\
 & \left. + \frac{100-24.57-61.06-14.37}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



B- 7号明細書(施工P-04)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版破碎積込/コンクリート舗装版

舗装版種別:コンクリート舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:不要、舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			9.20			
K 1	バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )(排出ガス対策型含む)	日	9.20			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			82.23			
R 1	土木一般世話役	人	29.42			
R 2	運転手(特殊)	人	28.07			
R 3	普通作業員	人	24.74			
R 4						
R 5						
材料 Z			8.57			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	8.57			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{9.20}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{9.20}{9.20} \right. \\
 & + \left( \frac{29.42}{100} \times \text{-----} + \frac{28.07}{100} \times \text{-----} + \frac{24.74}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{82.23}{29.42+28.07+24.74} \\
 & + \left( \frac{8.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{8.57}{8.57} \\
 & \left. + \frac{100-9.20-82.23-8.57}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-05)

下層路盤(歩道部) / 施工厚 t1=250mm、施工回数 N=2回

全仕上り厚:実数入力、施工区分:2層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 300mm

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			5.62			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.91			
K 2	振動ローラ(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.55			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			67.94			
R 1	普通作業員	人	28.48			
R 2	運転手(特殊)	人	24.06			
R 3	特殊作業員	人	13.43			
R 4						
R 5						
材料 Z			26.44			
Z 1	再生クラッシュラン / RC-40	m <sup>3</sup>	24.28			
Z 2	軽油 / パトロール給油	ℓ	2.10			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.91}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} + \frac{2.55}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{28.48}{100} \times \frac{67.94}{28.48+24.06+13.43} + \frac{24.06}{100} \times \frac{67.94}{28.48+24.06+13.43} + \frac{13.43}{100} \times \frac{67.94}{28.48+24.06+13.43} \right) \\
 & + \left( \frac{24.28}{100} \times \frac{26.44}{24.28+2.10} + \frac{2.10}{100} \times \frac{26.44}{24.28+2.10} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.62-67.94-26.44}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-06)  
上層路盤(歩道部)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 200mm

全仕上り厚:実数入力、施工区分:2層施工

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.11			
K 1	小型バックホ(クロー、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.65			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.32			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			61.70			
R 1	普通作業員	人	25.87			
R 2	運転手(特殊)	人	21.85			
R 3	特殊作業員	人	12.19			
R 4						
R 5						
材料 Z			33.19			
Z 1	再生粒度調整砕石 / RM-40	m <sup>3</sup>	31.24			
Z 2	軽油 / ハトロール給油	ℓ	1.90			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.65}{100} \times \frac{5.11}{2.65+2.32} + \frac{2.32}{100} \times \frac{5.11}{2.65+2.32} \right) \times \frac{5.11}{2.65+2.32} \right. \\
 & + \left( \frac{25.87}{100} \times \frac{61.70}{25.87+21.85+12.19} + \frac{21.85}{100} \times \frac{61.70}{25.87+21.85+12.19} + \frac{12.19}{100} \times \frac{61.70}{25.87+21.85+12.19} \right) \times \frac{61.70}{25.87+21.85+12.19} \\
 & + \left( \frac{31.24}{100} \times \frac{33.19}{31.24+1.90} + \frac{1.90}{100} \times \frac{33.19}{31.24+1.90} \right) \times \frac{33.19}{31.24+1.90} \\
 & \left. + \frac{100-5.11-61.70-33.19}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-07)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 50mm

表層(車道・路肩部)

平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力

材料: 各種(2.30以上2.40t/m<sup>3</sup>未満)、瀝青材料種類: 無し

名	称	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(	東	京	)	単	価	摘	要
機械	K							0.49										
	K 1	振動ローラ(舗装用)	ハンドガート式	／	運転質量0.5～0.6t			0.30	供/日									
	K 2	振動コンパクタ	前進型	／	機械質量40～60kg			0.17	供/日									
	K 3																	
	K 4																	
	K 5																	
労務	R							45.53										
	R 1	特殊作業員						22.61	人									
	R 2	普通作業員						15.69	人									
	R 3	土木一般世話役						4.66	人									
	R 4																	
	R 5																	
材料	Z							53.98										
	Z 1	再生アスファルト混合物	／	再生粗粒度アスコン(20)				53.72	t									
	Z 2	カソリン	／	レギュラー, スタンド渡し				0.21	ℓ									
	Z 3	軽油	／	ハトロール給油				0.04	ℓ									
	Z 4																	
	Z 5																	
市場	S																	

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.30}{100} \times \frac{0.49}{0.30+0.17} + \frac{0.17}{100} \times \frac{0.49}{0.30+0.17} \right) \times \frac{0.49}{0.30+0.17} \right. \\
 & + \left( \frac{22.61}{100} \times \frac{45.53}{22.61+15.69+4.66} + \frac{15.69}{100} \times \frac{45.53}{22.61+15.69+4.66} + \frac{4.66}{100} \times \frac{45.53}{22.61+15.69+4.66} \right) \times \frac{45.53}{22.61+15.69+4.66} \\
 & + \left( \frac{53.72}{100} \times \frac{53.98}{53.72+0.21+0.04} + \frac{0.21}{100} \times \frac{53.98}{53.72+0.21+0.04} + \frac{0.04}{100} \times \frac{53.98}{53.72+0.21+0.04} \right) \times \frac{53.98}{53.72+0.21+0.04} \\
 & \left. + \frac{100-0.49-45.53-53.98}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 8号 1式当たり 明細書

道路付属物撤去工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
側溝撤去【構造物とりこわし工(人力施工) 昼間】	鉄筋構造物 制約無	m <sup>3</sup>	0.6			C- 9号単価表
集水樹撤去【構造物とりこわし工(人力施工) 昼間】	鉄筋構造物 制約無	m <sup>3</sup>	1			C- 10号単価表
人力小運搬作業(人力運搬車)	運搬距離15mごと	m <sup>3</sup>	2			C- 11号単価表
ダンプトラック運搬工(良好・DID有り・Co(鉄筋)殻)	D10t、L=3km、バックホウ山積0.8m <sup>3</sup> 積込	m <sup>3</sup>	2			C- 12号単価表
廃材処理料(北部地区)	無筋C o殻	m <sup>3</sup>	0.1			
廃材処理料(北部地区)	有筋C o殻	m <sup>3</sup>	2			
人力小運搬作業(人力運搬車)	運搬距離15mごと	m <sup>3</sup>	1			C- 11号単価表
ダンプトラック運搬工(良好・DID有り・Co(鉄筋)殻)	D10t、L=3km、バックホウ山積0.8m <sup>3</sup> 積込	m <sup>3</sup>	1			C- 12号単価表
計						



B- 9号明細書(施工P-01)

床掘り

土質:土砂、施工方法:現場制約あり

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	普通作業員	人	100.00			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

+ (  $\frac{100}{100} \times \text{-----}$  ) ×  $\frac{100}{100}$  -----

+

+  $\frac{100-100}{100}$  } =

B- 9号明細書(施工P-02)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

埋戻し

施工方法:現場制約あり、土質:土砂、締固めの有無:有り

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			0.28			
K 1	タンパ°及びランマ賃料/質量 60~80kg	日	0.28			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			99.32			
R 1	普通作業員	人	88.05			
R 2	特殊作業員	人	11.27			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			0.40			
Z 1	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	0.40			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.28}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{0.28}{0.28} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{88.05}{100} \times \text{-----} + \frac{11.27}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{99.32}{88.05+11.27} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{0.40}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{0.40}{0.40} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-0.28-99.32-0.40}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$









































D- 3号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			46.50			
K 1	ブルドーザ 普通 排対型(1次基準) / 15t級	供/日	27.15			
K 2	バックホウ(クローラ型) 標準型 排対型(2次基準) / 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	供/日	19.35			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			36.85			
R 1	運転手(特殊)	人	36.85			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			16.65			
Z 1	軽油 / ハトロール給油	ℓ	16.65			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{27.15}{100} \times \text{-----} + \frac{19.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{46.50}{27.15+19.35} \right. \\
 & + \left( \frac{36.85}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{36.85}{36.85} \\
 & + \left( \frac{16.65}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{16.65}{16.65} \\
 & \left. + \frac{100-46.50-36.85-16.65}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



D- 4号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			46.50			
K 1	ブルドーザ 普通 排対型(1次基準) / 15t級	供/日	27.15			
K 2	バックホウ(クローラ型) 標準型 排対型(2次基準) / 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	供/日	19.35			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			36.85			
R 1	運転手(特殊)	人	36.85			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			16.65			
Z 1	軽油 / ハトロール給油	ℓ	16.65			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{27.15}{100} \times \text{-----} + \frac{19.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{46.50}{27.15+19.35} \right. \\
 & + \left( \frac{36.85}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{36.85}{36.85} \\
 & + \left( \frac{16.65}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{16.65}{16.65} \\
 & \left. + \frac{100-46.50-36.85-16.65}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

















D- 11号単価表(施工P-01)  
コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 18-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		44.55			
	R 1 普通作業員	人	25.54			
	R 2 特殊作業員	人	8.75			
	R 3 土木一般世話役	人	7.99			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		55.45			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-12-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	55.45			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{25.54}{100} \times \frac{44.55}{25.54+8.75+7.99} + \frac{8.75}{100} \times \frac{44.55}{25.54+8.75+7.99} + \frac{7.99}{100} \times \frac{44.55}{25.54+8.75+7.99} \right)$$

$$+ \left( \frac{55.45}{100} \times \frac{55.45}{55.45} \right)$$

$$+ \left. \frac{100-44.55-55.45}{100} \right\} =$$

D- 12号 1箇所当たり 単価表

内副管取付工  
段差1.0m未満、内径100～300mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
貼り付け型内副管継手(1号マンホール用)	塩ビ管・ヒューム管用 150×100	個	1			
下水道用硬質塩化ビニル管 直管	VU管フレンエント φ 100, L=4m	本	1			
ステンレスバンド	φ 100	個	2			
曲管 90° LL	φ 100	個	1			
諸雑費		式	1			
計						













E- 3号単価表(施工P-01)

モルタル練

セメント種類:高炉、混合比:1:2

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		62.07			
	R 1 普通作業員	人	62.07			
	R 2					
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料	Z		37.93			
	Z 1 セメント(高炉B)/25kg袋入	t	28.13			
	Z 2 コンクリート用骨材 砂/洗い 細目	m <sup>3</sup>	9.80			
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{62.07}{100} \times \frac{62.07}{62.07} \right) \times \frac{62.07}{62.07}$$

$$+ \left( \frac{28.13}{100} \times \frac{9.80}{28.13+9.80} \right) \times \frac{37.93}{28.13+9.80}$$

$$+ \frac{100-62.07-37.93}{100} \} =$$

















公共下水道39分区枝線工事		材料費(30)			材料調書全体明細表		
							(単位:円)
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
暗渠排水管	φ 200~400mm	m	15.15				
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	自在曲管(75°) φ 150	個	3				
曲管30度	30 S R	個	1				
曲管60度	60 S R	個	1				
硬質塩ビ蓋及び枠	Φ 1 2 5	個	4				
開閉密閉式高さ調整ふた	Φ 300汚水	個	1				
D V継手	9 0° 大曲 Y 150*125	個	4				
カー継手 接着受口	Φ 125 W T B	個	4				
生コンクリート(高炉セメント)	18-12-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	0.17				
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m <sup>3</sup>	0.014				
再生粒度調整砕石	RM-40	m <sup>3</sup>	1.017				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	2.955				
再生砂	RC-10	m <sup>3</sup>	5.88				

公共下水道39分区枝線工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン(20)	t	0.504			
下水道用硬質塩化ビニル管 直管	VU管フレンエントφ100, L=4m	本	1			
下水道用硬質塩化ビニル管 直管	VU管フレンエントφ150, L=4m	本	1			
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	曲管(15°又30°)ゴム輪受口φ150	本	1			
下水道用硬質塩化ビニル管 曲管	自在曲管(15°又30°)φ150	本	1			
排水用硬質ポリ塩化ビニル管曲管(小口)	曲管(90°)エルボφ150	個	2			
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×450	個	1			
組立式マンホール(0号)	躯体ブロック 750×900	個	1			
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	1			
組立式マンホール(1号)	躯体ブロック 900×1200	個	1			
組立式マンホール(1号)	底版 有効高130	個	1			
調整リング	600×100	個	1			
調整リング	600×150	個	1			

公共下水道39分区枝線工事		材料費(30)			材料調書全体明細表		
							(単位:円)
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-25	組	1				
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1				
無収縮モルタル	25kg	袋	2				
受枠変形防止材(3セット1組)		組	2				
曲管 90° LL	φ100	個	1				
曲管 90° LL	φ250	個	2				
ステンレスバンド	φ100	個	2				
貼り付け型内副管継手(1号マンホール用)	塩ビ管・ヒューム管用 150×100	個	1				
組立1号マンホール 1種 5m以下	斜壁 60	個	1				
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ150	個	2				
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	2				
ガソリン	レギュラー, スタント渡し	ℓ	2.113				
軽油	ハトロール給油	ℓ	31.638				





令和6年度 公共下水道39分区枝線工事

数 量 計 算 書

海老名市まちづくり部下水道課



数量総括表(1/3)

上段:当初数量

下段:変更数量

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
	管渠工 管径150mm	管路土工					
		掘削工	掘削	人力	m3	2	2.93
			掘削	BH 0.28m3	m3	7	7.6
			路盤掘削	BH 0.28m3	m3	2	2.47
		埋戻工	砂(RC-10)埋戻	BH 0.28m3	m3	4	4.50
			碎石(RC-40)埋戻	BH 0.28m3	m3	1	1.80
			発生土		m3	2	2.93
		残土処理工	土砂		m3	4	7.57m <sup>3</sup> のうち、3m <sup>3</sup> を暗渠排水管理戻しに使用
			路盤		m3	2	2.47
		運搬処理工	土砂		m3	4	
			路盤		m3	2	
		管布設工	路線延長	VUφ150	m	53.60	53.60
			管体延長	VUφ150	m	52.62	52.62
			基礎工	砂基礎(VUφ150)	m3	0.90	0.93
			基礎延長	VUφ150	m	52	52.48
			硬質塩化ビニル管	φ150×4000	本	17	
			マンホール可とう継手	φ150用	個	2	
			マンホール可とう継手	φ200用	個	2	
			曲管	φ150, 30° SR	本	1	
				φ150, 90° SR	本	2	
			自在曲管	φ150, 75° ST-F	本	3	
				φ150, 30° ST-F	本	1	
			接着受口カラー	φ150	個	4	
			硬質塩化ビニル蓋及び枠	φ125用	個	4	
			ブレーション直管	φ125	m	1.20	
			DV継手	90° 大曲りV150*125		4	

数量総括表 (2/3)

上段:当初数量

下段:変更数量

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
	マンホール工						
		組立人孔工	組立1号人孔	内径φ900	箇所	1	
			ブロック据付	H≤3.0m	箇所	1	
			人孔鉄蓋	標準鉄蓋 (市型)	組	1	T-14 T-25
			"	転落防止梯子付 (市型)	組	1	T-14 T-25
			調整無収縮モルタル	5kg/cm	kg		0号人孔に合算で記載
			調整リング	H=100mm	個	1	
			斜壁ブロック	H=600mm	個	1	
			躯体ブロック	H=1200mm	個	1	
			底板ブロック	H=130mm	個	1	
			削孔	φ150	箇所	1	
			"	φ200	箇所	2	(2号人孔用) (1号人孔用)
			人孔底部工	流出φ200	箇所	1	
			碎石基礎工	RC-40	m <sup>2</sup> / 箇所	0.950	0.950
			インパートコンクリート工	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> / 箇所	0.160	0.160
			モルタル上塗り工	配合1:2 厚さ2cm	m <sup>2</sup> / 箇所	0.739	0.739
		組立人孔工	組立0号人孔	内径φ750	箇所	1	
			ブロック据付	H≤3.0m	箇所	1	
			人孔鉄蓋	標準鉄蓋 (市型)	組	1	T-14 T-25
			"	転落防止梯子付 (市型)	組	1	T-14 T-25
			調整無収縮モルタル	5kg/cm	kg	33	2袋
			調整リング	H=150mm	個	1	
			斜壁ブロック	H=450mm	個	1	
			躯体ブロック	H=900mm	個	1	
			底板ブロック	H=130mm	個	1	
		副管取付工		φ150	箇所	1	
			副管設置工	H<1.0m	箇所	1	
			省スペース型内副管用継手	本管φ150 ×φ100	個	1	
			プレーンエンド直管	φ100用	本	1.0	
			サポートバンド	φ150用	個	2	
			90° 曲管	φ150用	個	1	
		小型マンホール工	小型マンホール(塩ビ製)		箇所	1	
		<内訳>	市場単価適用箇所	起点および中間形式 マンホール深さ2.0m 以下	箇所	1	

数量総括表 (3/3)

上段:当初数量

下段:変更数量

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
	付帯工						
		仮復旧工					
		舗装工	上層路盤工(5号)	再生粒調碎石 (RM-40)t=20cm	m2	4	4.92
			下層路盤工(5号)	再生クランケラン (RC-40)t=30cm	m2	4	4.92
			表層工(5号)	再生粗粒度As t=5cm	m2	4	4.92
		舗装撤去工	As舗装版切断	t=20cm以下	m	9	9.00
			Co舗装版切断	t=15cm以下	m	3	3.00
			舗装版取壊し	As舗装 t=15cm以下	m2	3	3.70
			舗装版取壊し	Co舗装 t=10cm以下	m2	1	1.23
		残土・運搬処理工	Asガラ運搬処理工	Asガラ	m3	0.18	0.18
			Coガラ運搬処理工	Coガラ	m3		0.12m3 道路付属物撤去工のCo運搬処分に計上
		道路付属物撤去工	既設側溝撤去	VUφ250	m		
			〃	U300×500	m3	0.6	0.61
			雨水樹撤去		m3	1	1.60
			Coガラ運搬	舗装版 無筋 側溝 有筋	m3	2	舗装版 無筋0.12 側溝 有筋2.21
			Coガラ処分	舗装版 無筋	m3	0.1	
			Coガラ処分	側溝 有筋	m3	2	
			人力小運搬	側溝、集水樹	m3	2	
			人力小運搬	落蓋	m3	1	
			Coガラ運搬	落蓋	m3	1	1.00
		排水構造物設置工	雨水管布設	VUφ250	m	15	
			床掘	人力掘削	m3	2	
			側溝埋戻し	人力埋戻し	m3	3	
			VUφ250		本	4.00	
			曲管	90度 90LL	本	2	
			曲管	60度 60SR	本	1	
			曲管	30度 30SR	本	1	
	仮設工		交通誘導員		式	1	

管布設工数量集計表

内径φ150VU管

当初

路線延長	全 体	53.60 m	掘削工	人力	2.93 m <sup>3</sup>
	φ 150 VU	53.60 m		バックホウ	山積0.28m3 7.57 m <sup>3</sup>
	φ 150 RP	m		残 土 量	7.57 m <sup>3</sup>
管体延長	全 体	52.62 m	埋戻工	RC-10 (ハックホウ)	φ 150VU 4.50 m <sup>3</sup> 全体 4.50 m <sup>3</sup>
	φ 150 VU	52.62 m		RC-40 (ハックホウ)	φ 150VU 1.80 m <sup>3</sup> 全体 1.80 m <sup>3</sup>
	φ 150 RP			発生土 (人力)	2.93 m <sup>3</sup>
基礎工	砂 基 礎	φ 150VU 0.93 m <sup>3</sup> 全体 0.93 m <sup>3</sup>	山留工 (アルミ矢板)	L = 2.00 m	m
	基礎延長	φ 150VU 52.48 m 全体 52.48 m		L = 2.50 m	m
				L = 3.00 m	m
		L = 3.50 m		m	
		L = 4.00 m		m	
管材	硬質塩化ビニル管 φ 150 VU	17 本	支保工 (金属)	1 段	m
	曲管φ150 接着カラー	30° 1 本 90° 2 本 自在75° 3 本 4 個		2 段	m
	マンホール用可とう継手 Φ150用	2 個		3 段	m
	マンホール用可とう継手 Φ200用	2 個			
	支管φ300×φ150 硬質塩ビ蓋及び枠φ125用 プレーンエンド直管 DV継手90° 大曲りY	φ 125 4 × 0.302 = 1.2 m 150×125 4 個			

管布設・土工数量計算表

管径 φ 150 VU

当初

人孔番号 路線番号	スパン 延長 L m	人孔 減長 m	管体 延長 m	基礎 減長 m	基礎 延長 L' m	掘削深		掘削幅 W m	舗装構成	掘削土量 m <sup>3</sup>	埋戻し土量				残土量 m <sup>3</sup>
						上流 下流	平均 H				発生土 m <sup>3</sup>	RC-40 バック材 m <sup>3</sup>	RC-10 バック材 m <sup>3</sup>	砂基礎 m <sup>3</sup>	
											人力 m <sup>3</sup>				
8005-2-1 ~ 8005-2-3 8005-2	7.20	0.38	6.82	0.075	6.75	1.48 0.26	0.87	0.82	なし	機械掘削 5.14		1.80	2.59	0.55	5.14
8005-2-3 ~ 8005-2-4 8005-2	13.70		13.70		13.70	0.26 0.47	0.37	0.20	なし	1.01	1.01				
8005-2-4 ~ 8005-2-5 8005-2	1.80		1.80		1.80	0.47 0.21	0.34	0.20	なし	0.12	0.12				
8005-2-5 ~ 8005-2-6 8005-2	4.40		4.40		4.40	0.21 0.21	0.21	0.20	なし	0.18	0.18				
8005-2-6 ~ 8005-2-7 8005-2	12.90		12.90		12.90	0.21 0.21	0.21	0.20	なし	0.54	0.54				
8005-2-7 ~ 8005-2-9 8005-2	8.30		8.30		8.30	0.21 1.06	0.64	0.20	なし	1.06	1.06				
8005-2-9 ~ 8008-2-1 8008-2	5.30	0.60	4.70	0.075	4.63	1.06 1.16	1.11	0.82	5号復旧	機械掘削 2.43			1.91	0.38	2.43
小計	53.60		52.62		52.48				機械 人力	7.57 2.93	2.93	1.80	4.50	0.93	7.57

VU φ150mm

管 渠 数 量 計 算 書

当初

路線番号	人孔番号	管径 (mm)	人孔間延長 (m)	人孔による減長 (m)	管渠延長 (m)	管 数 量															備考			
						ゴム輪受口片受け直管			マンホール用 可とう継手 Φ150	マンホール用 可とう継手 Φ200	副管用 マンホール継手	VU直管 控除長	曲管部材 布設延長 (軸中心)	曲管部材 砂基礎	曲管 φ150		自在曲管 φ150		接着 カラ ー	支 管		蓋 及 び 栓	直 管	D V 継 手
						控除(m)	L=4.0m 延長(m)	本	個	個	L=1.0m 本	(m)	(m)	(m3)	30SR 30 本	90SR 90 本	75ST-F 75 本	30ST-F 30 本	φ150 個	φ300 ×φ150 個		φ125 個	L=302 箇所	90° 大曲り 個
8005-2	8005-2-1 8005-2-3	150	7.20	0.38	6.82	0.17	6.65	2	(1)			0.174	0.174		1				1	1	1			
8005-2	8005-2-3 8005-2-4	150	13.70		13.70	0.25	13.45	4				0.25	0.25		1			1	1	1				
8005-2	8005-2-4 8005-2-5	150	1.80		1.80	0.36	1.44	1				0.356	0.356		1									
8005-2	8005-2-5 8005-2-6	150	4.40		4.40	0.21	4.19	2				0.210	0.210			1		1	1	1	1			
8005-2	8005-2-6 8005-2-7	150	12.90		12.90	0.21	12.69	4				0.210	0.210			1		1	1	1	1			
8005-2	8005-2-7 8005-2-9	150	8.30		8.30	0.30	8.00	2				0.295	0.295			1	1							
8008-2	8005-2-9 8008-2-1	150	5.30	0.60	4.70	0.30	4.40	2	1	2		0.295	0.295											
合 計								17	2	2		1.790	1.790		1	2	3	1	4		4	4	4	

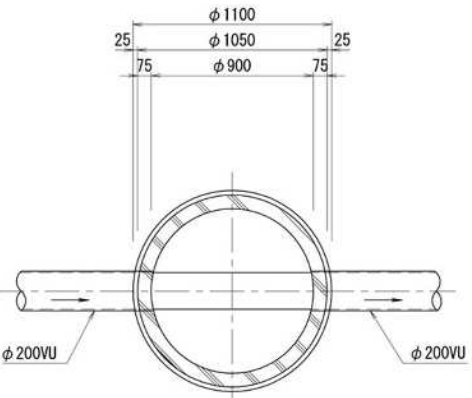
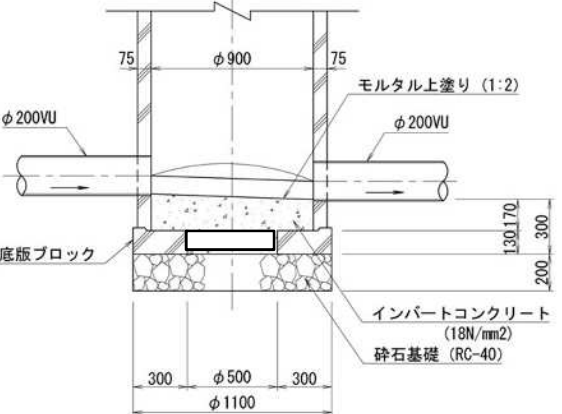
1号組立マンホール設置工					当初
箇所数		1箇所	直壁ブロック	H= 1500 mm	個
ブロック据付	～ 3 m	1箇所	躯体ブロック	H= 1800 mm	個
	3 ～ 4 m	箇所		H= 600 mm	個
	4 ～ 5 m	箇所		H= 900 mm	個
人孔鉄蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14		組	H= 1200 mm
		T-25	1 組		
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14	組	H= 1500 mm	個
		T-25	組		
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm	15 kg	H= 1800 mm	個
調整リング	H= 50 mm	個	底版	H= 130 mm	1 個
	H= 100 mm	1 個			
	H= 150 mm	個	流入管削孔	φ 150 VU	1 箇所
斜壁ブロック	600*900*150 床版斜壁ブロック	個		φ 200 VU (2号人孔)	箇所
	H= 450 mm	個		φ 200 VU (1号人孔)	2 箇所
直壁ブロック	H= 600 mm	1 個	人孔底部工	φ 200 VP	箇所
	H= 300 mm	個		標準 流出φ200	1 箇所
	H= 600 mm	個		モルタル上塗り 1箇所当り	0.739 m <sup>2</sup>
	H= 900 mm	個		コンクリート(18-8-25 (20) BB)	0.160 m <sup>3</sup>
H= 1200 mm	個		基礎碎石(RC-40 t=20cm)	0.950 m <sup>2</sup>	
				標準 流出φ300	箇所
				モルタル上塗り 1箇所当り	m <sup>2</sup>
				コンクリート(18-8-25 (20) BB)	m <sup>3</sup>
				基礎碎石(RC-40 t=20cm)	m <sup>2</sup>





1号組立マンホール底部工数量計算書(本管径φ200)

(1箇所当り)

略 図	種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
	砕石基礎工	RC-40 t=20cm	$\pi/4 \times 1.100^2 = 0.950$	0.950 m <sup>2</sup> /箇所
	インパートコンクリート工	18N/mm <sup>2</sup>	$\pi/4 \times 0.900^2 \times (0.170 + 0.200/2 + 0.008/2) - \pi/4 \times 0.200^2 \times 0.900 \times 1/2 = 0.160$	0.160 m <sup>3</sup> /箇所
	モルタル上塗り工	配合 1:2 厚さ 2cm	$\pi/4 \times 0.900^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 - 0.200 \times 0.900 = 0.739$	0.739 m <sup>2</sup> /箇所

0号組立マンホール設置工				当初	
箇所数		1箇所	直壁ブロック	H= 1500 mm	個
ブロック据付	～ 3 m	1箇所	躯体ブロック	H= 1800 mm	個
	3 ～ 4 m	箇所		H= 600 mm	個
	4 ～ 5 m	箇所		H= 900 mm	1 個
人孔鉄蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14		1組	H= 1200 mm
		T-25	組	H= 1500 mm	個
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14	組		
		T-25	組	調整無収縮 モルタル	5kg/cm
	調整リング	H= 50 mm	個		
	H= 100 mm	個			
	H= 150 mm	1 個			
斜壁ブロック	H= 300 mm	個	流入管削孔	φ 150 VU	箇所
	H= 450 mm	1 個		φ 200 VU (0号人孔)	箇所
	H= 600 mm	個		φ 200 VP	箇所
直壁ブロック	H= 300 mm	個	人孔底部工	標準 流出φ200 モルタル上塗り 1箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	箇所 m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> m <sup>2</sup>
	H= 600 mm	個		標準 流出φ300 モルタル上塗り 1箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	箇所 m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> m <sup>2</sup>
	H= 900 mm	個			
	H= 1200 mm	個			

# 0号組立マンホール材料表

当初

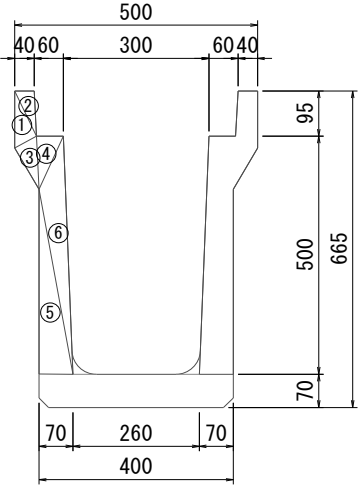
路線 番号	マンホール 番号	マンホール 深さ m	底版 個	躯体ブロック					直壁ブロック					斜壁ブロック			調整リング			調整 高 mm	人孔蓋		削孔			底部工 箇所	継手	副管									
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個		150 個	T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所		300 箇所	個	H								
8005-2	8005-2-1	1.477	1		1																															底部は将来工事で施工	
計			1		1																																



舗装工集計表-仮復旧							当初	
名 称	詳 細	本管布設時					小 計	合 計
舗装版切断工	t=15cm以下 Co	3.00 m					3.00	3.00 m
	t=20cm以下 As	9.00 m					9.00	9.00 m
舗装版直接掘削	t=10cm以下 Co	1.23 m <sup>2</sup>					1.23	1.20 m <sup>2</sup>
	t=15cm以下 As	3.69 m <sup>2</sup>					3.69	3.70 m <sup>2</sup>
路盤掘削工		2.47 m <sup>3</sup>					2.47	2.40 m <sup>3</sup>
ガラ運搬工・処理	Co	0.12 m <sup>3</sup>					0.12	0.12 m <sup>3</sup>
	As	0.18 m <sup>3</sup>					0.18	0.18 m <sup>3</sup>
路盤ガラ運搬工・処理		2.47 m <sup>3</sup>					2.47	2.47 m <sup>3</sup>
仮復旧表層工 (5号復旧)	再生粗粒度As							
	t= 5 cm	4.92 m <sup>2</sup>					4.92	4.92 m <sup>2</sup>
仮復旧 (5号復旧) 上層路盤工	RM-40							
	t= 20 cm	4.92 m <sup>2</sup>					4.92	4.92 m <sup>2</sup>
仮復旧 (5号復旧) 下層路盤工	RC-40							
	t= 30 cm	4.92 m <sup>2</sup>					4.92	4.92 m <sup>2</sup>

AS・路盤ガラ計算書							本管布設時		当初	
路 線 番 号	舗 装 種 別	延 長 m	掘削幅 m	既設舗装厚 c m	取 壊 し 面 積 m <sup>2</sup>	舗 装 版 運 搬		カッター工 m		
						m <sup>3</sup>	路盤 m <sup>3</sup>			
8008-2	5号復旧	4.50	0.82	As t= 5 路盤 t= 50	As 3.69	As 0.18	1.85	9.00		
8005-1	コンクリート舗装	1.50	0.82	con t= 10 路盤 t= 50	con 1.23	con 0.12	0.62	3.00		
合 計		6.00			con 1.23 As 3.69	con 0.12 As 0.18	2.47	12.00		

仮 復 旧 面 積 計 算 書							本管布設時					当初
路 線 番 号	舗 装 種 別	延 長 m	掘削幅 m	仮復旧厚 碎石厚	復旧厚 cm	復旧面積 m <sup>2</sup>	コンクリート舗装	3号復旧	4号復旧	5号復旧	6号復旧	
							m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
8008-2	5号復旧	4.50	0.82	As t= 5 路盤 t= 50	t= 5 cm	3.69						
8005-1	コンクリート舗装	1.50	0.82	As t= 5 路盤 t= 55	t= 5 cm	1.23						
合 計		6.00				4.92						

種 別	算 定 式	数 量
<8005-2路線>		
既設側溝撤去	U300×500 側溝壁断面 $0.02\text{m}^2 \times L 15.2 \times 2$ 面 ※図1参照	$= 0.608$ 0.61 m <sup>3</sup>
雨水枡撤去	4基撤去 $0.4 \times 4$ ( $0.4\text{m}^3$ /基)	$= 1.6$ 1.6 m <sup>3</sup>
コンクリート処分工	$0.61+1.6$	$= 2.208$ 2.21 m <sup>3</sup>
	図1 	へロンの公式より、側溝壁断面 $0.02\text{m}^2$
人力小運搬	既設側溝、雨水枡	$= 2.00$ 2.00 m <sup>3</sup>
人力小運搬	落蓋の運搬、市内の指定場所（大谷）へ運搬	$= 1.00$ 1.00 m <sup>3</sup>
暗渠排水管布設	床掘 ※既設側溝に被っている現況土の掘削	$= 2.00$ 2.00 m <sup>3</sup>
暗渠排水管布設	VUφ250 $6.4+8.6$ L	$= 15.00$ 15.00 m
埋戻し	※発生土埋戻し ※既設蓋撤去後、現況レベルまで埋戻し	$= 3.00$ 3.00 m <sup>3</sup>
管材料	VUφ250 $15 \div 4$ N	$= 4.00$ 4.00 本
	90度曲管	N = 2.00 2.00 本
	60度曲管	N = 1.00 1.00 本
	30度曲管	N = 1.00 1.00 本

## 工 期 算 定

準備日数		12 日
標準工期（開削）	53.60 m × 29 日 / 100 m	16 日
水替え工	4.00 日 / 1.7	3 日
舗装版切断	12 m ÷ 240 m/日	1 日
復旧日数	現場あたり 1 ×	日
後片付け	施工路線 1 × 5 日	5 日
盆・正月	盆 3 日 正月 日	3 日
検査待機		14 日
合計	54 日 2 捨 3 入 7 捨 8 入	55 日

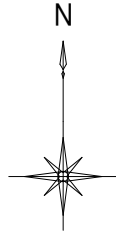
標準工期

舗装切断+復旧 1日当り3人配置

交通整理員 ( 16 / 1.8 + 1 ) × 3 30 人

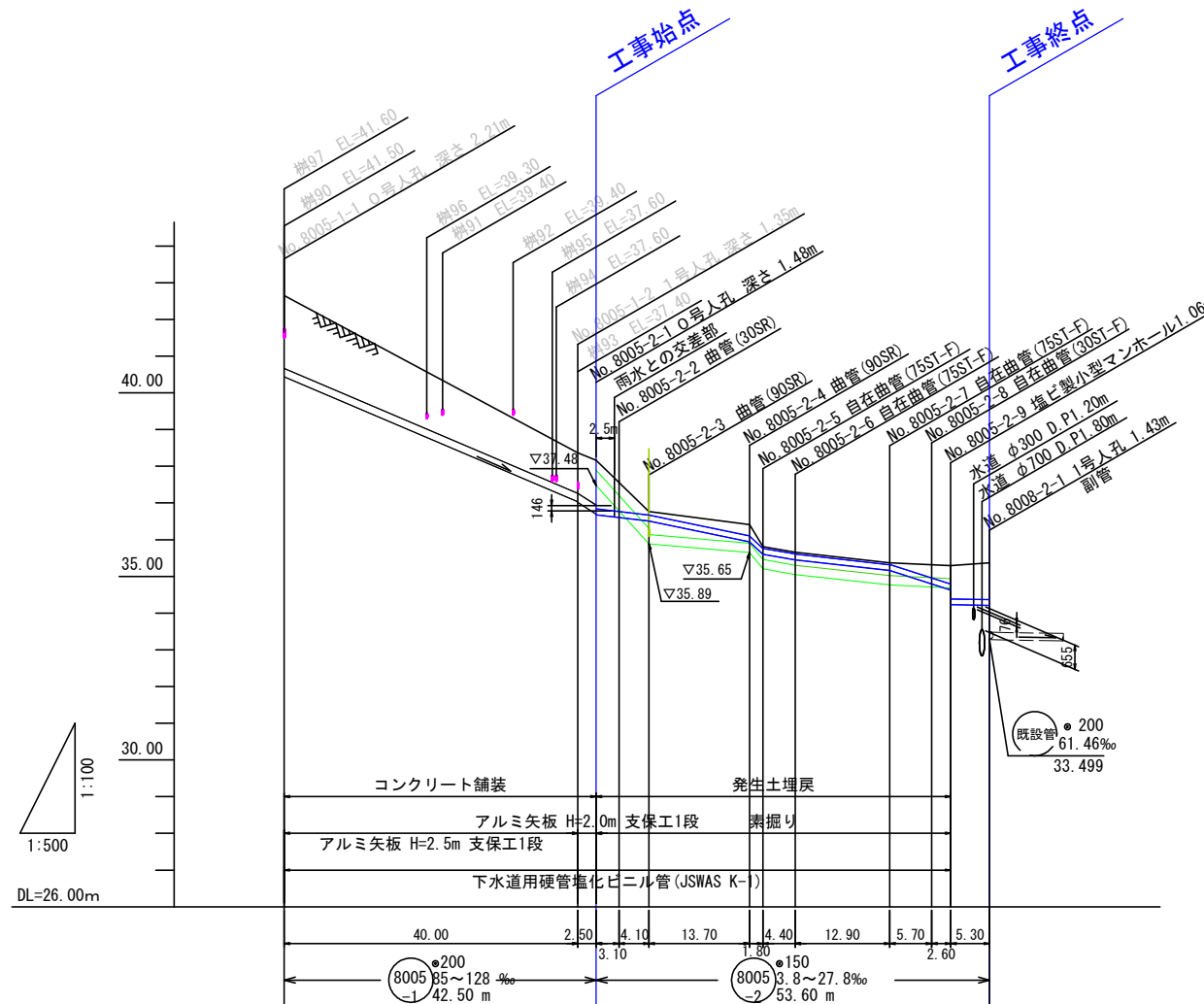
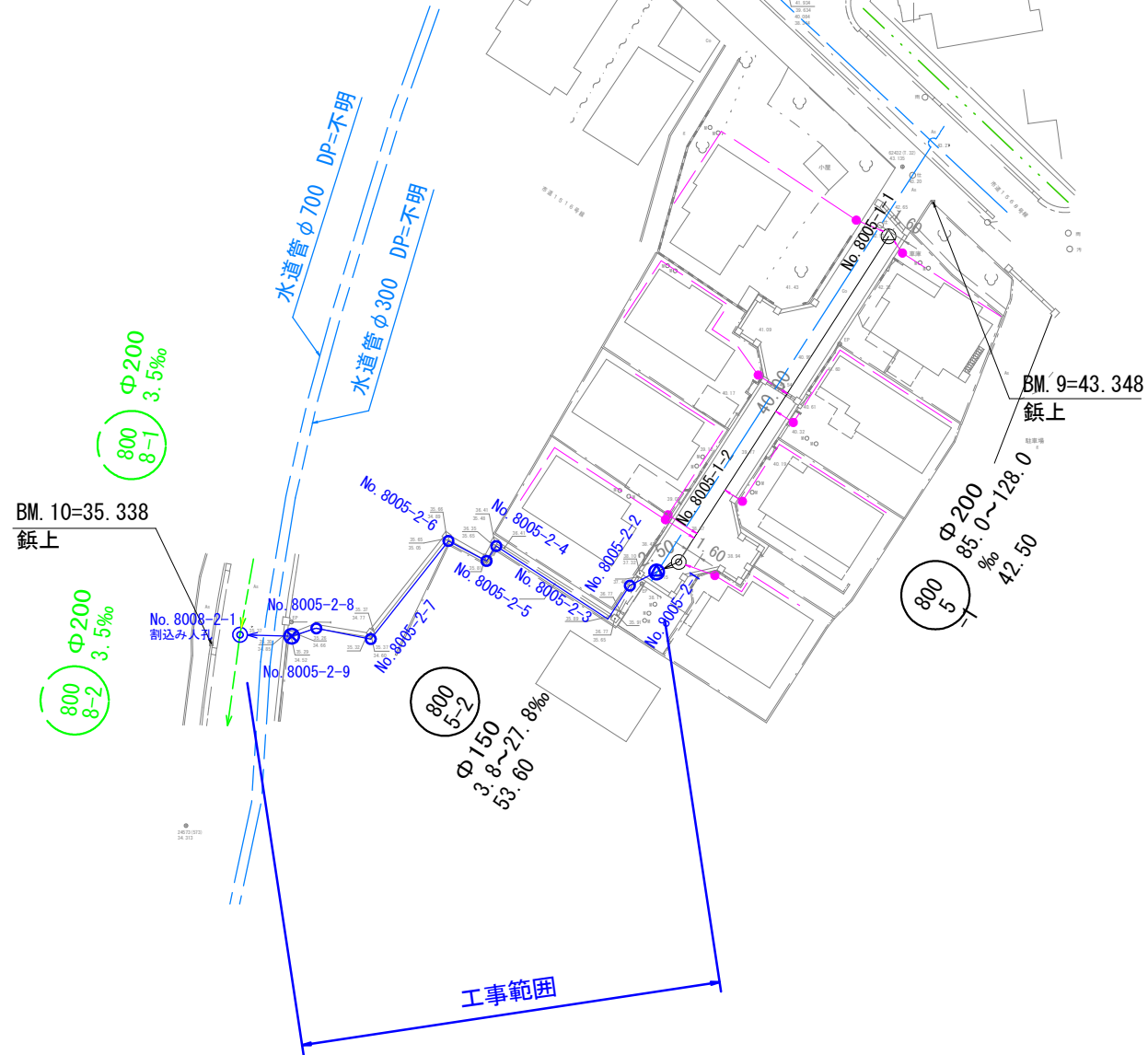
海老名市

# 平面縦断図 縮尺1:500



## 【 合計 】

- 工事延長 VUφ150 L= 53.60m
- 管渠布設工 VUφ150 L= 52.62m
- 1号マンホール設置工 1箇所
- 0号マンホール設置工 1箇所
- 小型マンホール設置工 1箇所



地盤高	土被り	管底高	掘削深	追加距離	単距離	測点
42.65	2.00	40.442	2.32			
38.37	1.14	37.042	1.46	0		
38.16	1.14	37.022	1.46	3.1		
36.77	1.32	36.702	1.48	7.2		
36.41	0.31	36.683	0.26	20.9		
35.81	0.05	36.513	(0.37)	1.8		
35.66	0.05	35.945	0.47	4.4		
35.37	0.05	35.603	0.21	13.7		
35.29	0.90	35.453	0.21	1.8		
35.37	1.00	35.163	(0.21)	4.4		
		34.633	0.21	12.9		
		34.233	(0.64)	5.7		
		34.213	1.06	2.6		
			(1.11)	48.3		
			1.16	5.3		

測点	X座標	Y座標
No. 8005-1-1	-63116.541	-38545.610
No. 8005-1-2	-63149.959	-38567.153
No. 8005-2-1	-63150.983	-38569.425
No. 8005-2-2	-63152.383	-38572.173
No. 8005-2-3	-63155.814	-38574.415
No. 8005-2-4	-63148.324	-38585.882
No. 8005-2-5	-63149.855	-38586.882
No. 8005-2-6	-63147.799	-38590.789
No. 8005-2-7	-63157.874	-38598.771
No. 8005-2-8	-63156.762	-38604.359
No. 8005-2-9	-63157.570	-38606.882
BM. 9	-63113.032	-38541.041
BM. 10	-63158.338	-38615.118

(8005-1)	(8005-2)

凡例

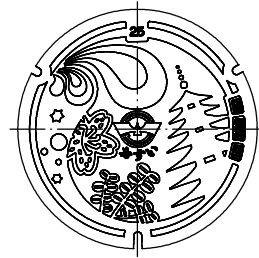
記号	名称
==	幹線管渠
==	実施管渠
- - -	計画管渠
---	既設管渠
---	水道管
---	ガス管
---	電気
---	N T T
⊙	1号組立マンホール
○	2号組立マンホール
⊗	0号組立マンホール
⊗	硬質塩化ビニル製マンホール
○	曲管

工事名	公共下水道39分区枝線工事
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内
図面名	平面縦断図
縮尺	1:500
図面番号	1/8
設計	写図
海老名市 まちづくり部 下水道課	

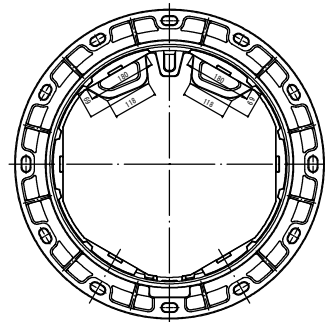


平面図

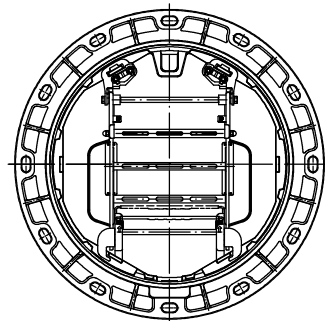
マンホール蓋



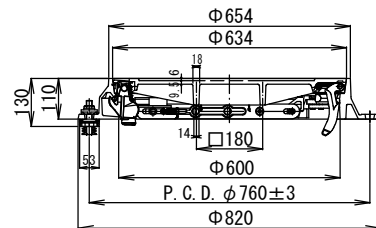
マンホール枠



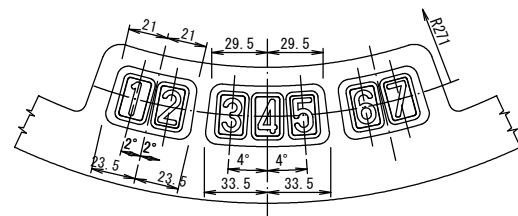
転落防止梯子付



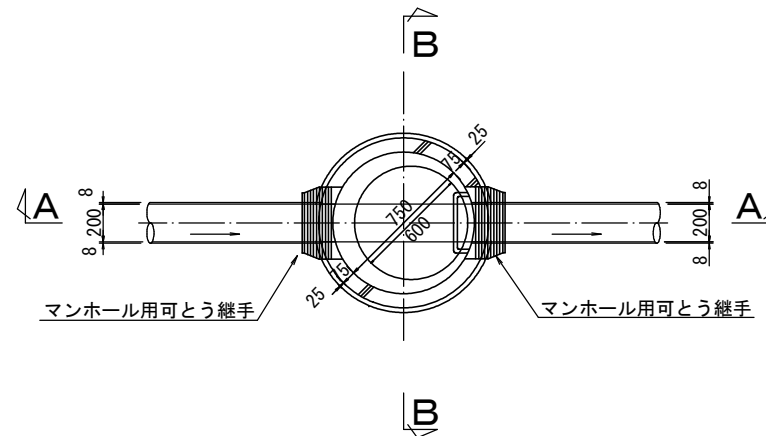
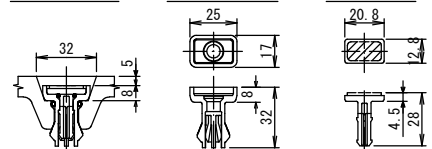
カバー・フレーム断面図



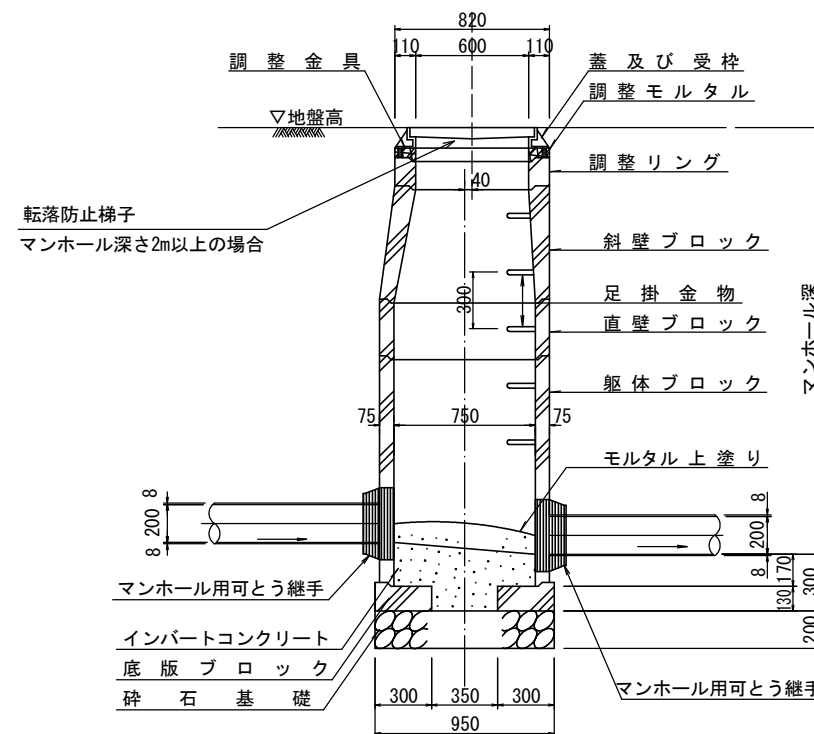
キャップ取付平面図



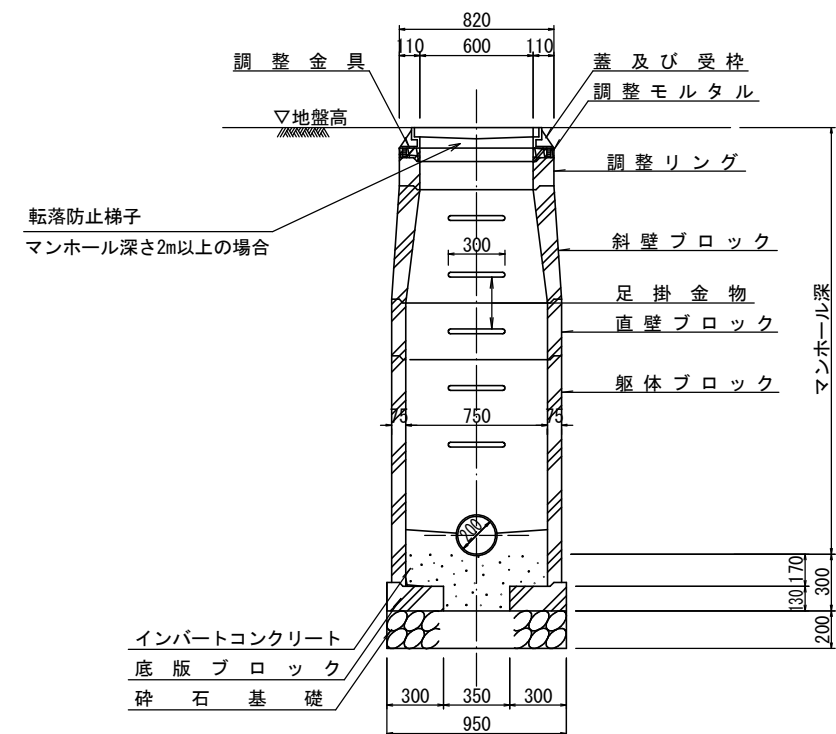
キャップ取付断面図 外枠キャップ詳細図 キャップ詳細図



A-A断面図



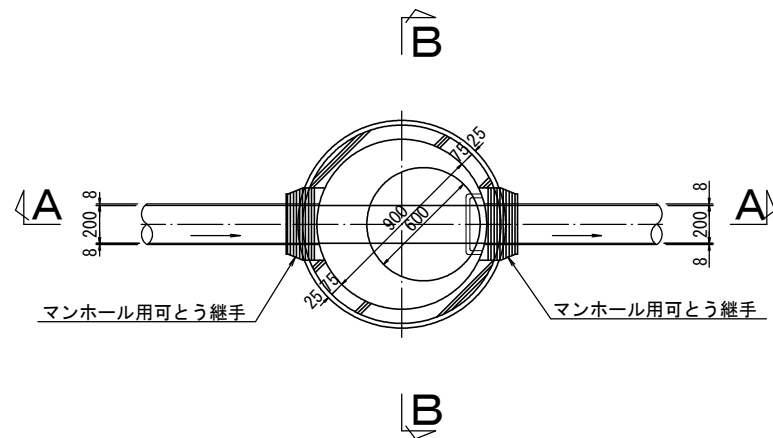
B-B断面図



※50mmの調整リングは使用しないこと。  
 ※マンホール深さ3~5mごとに中間スラブを設ける。  
 ※緊急輸送路または車道が2車線以上の場合、マンホール蓋はT-25を使用する。  
 ※マンホール深さ2.0m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること。  
 ※調整モルタルは30mm以上とする。  
 ※歩道マウントアップ部では、300mm斜壁ブロックは使用不可とする。

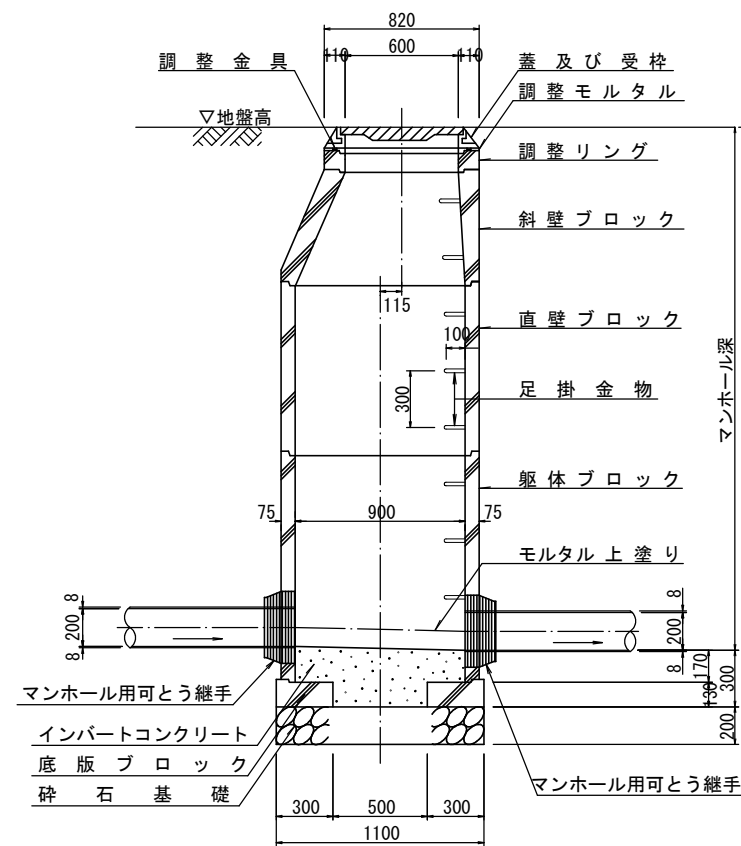
工事名	公共下水道39分区枝線工事
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内
図面名	0号組立マンホール標準構造図
縮尺	図示
図面番号	2/8
設計	写図
海老名市 まちづくり部 下水道課	

平面図

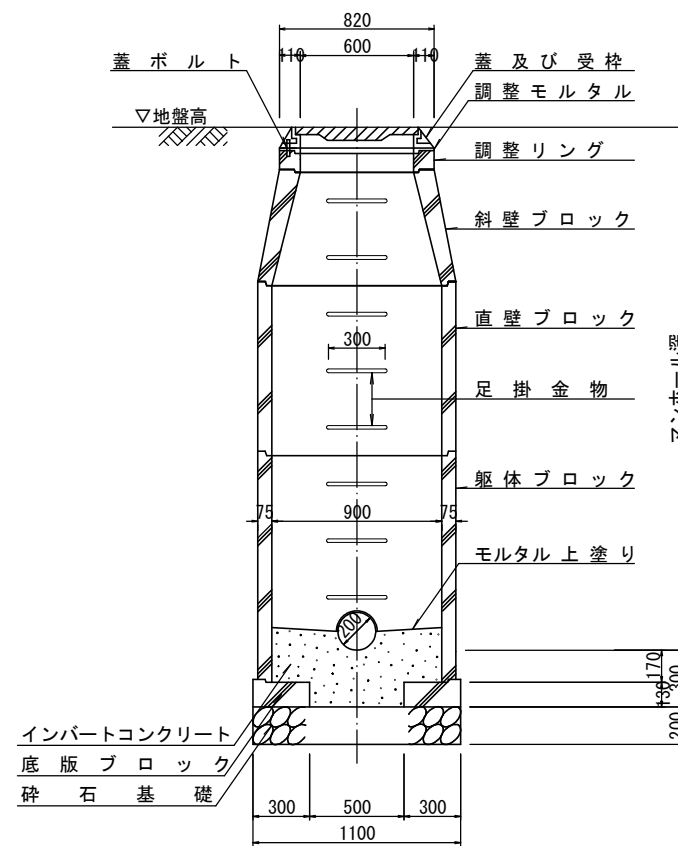


※50mmの調整リングは使用しないこと。  
 ※マンホール深さ3~5mごとに中間スラブを設ける。  
 ※緊急輸送路または車道が2車線以上の場合、マンホール蓋はT-25を使用する。  
 ※マンホール深さ2.0m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること。  
 ※調整モルタルは30mm以上とする。  
 ※歩道マウントアップ部では、300mm斜壁ブロックは使用不可とする。

A-A断面図



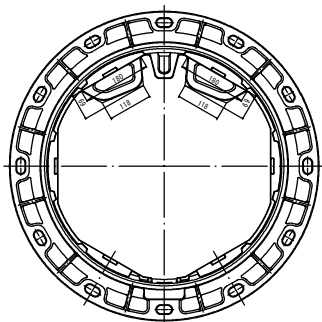
B-B断面図



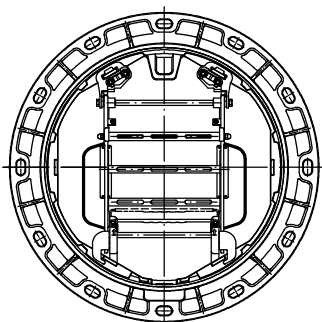
マンホール蓋



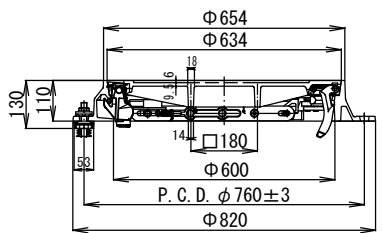
マンホール枠



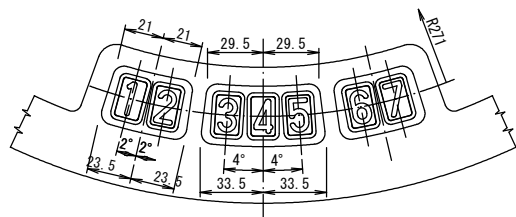
転落防止梯子付



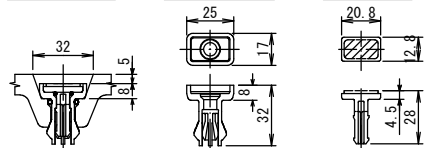
カバー・フレーム断面図



キャップ取付平面図



キャップ取付断面図 外枠キャップ詳細図 キャップ詳細図

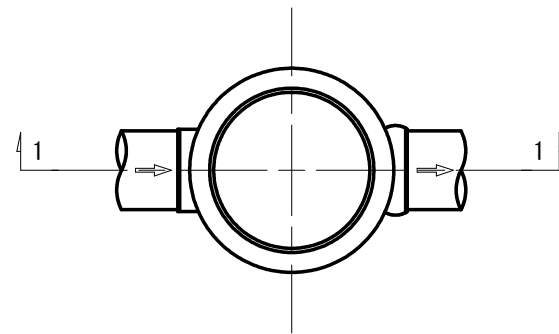


工事名	公共下水道39分区枝線工事
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内
図面名	1号組立マンホール標準構造図
縮尺	図示
図面番号	3/8
設計	写図
海老名市 まちづくり部 下水道課	

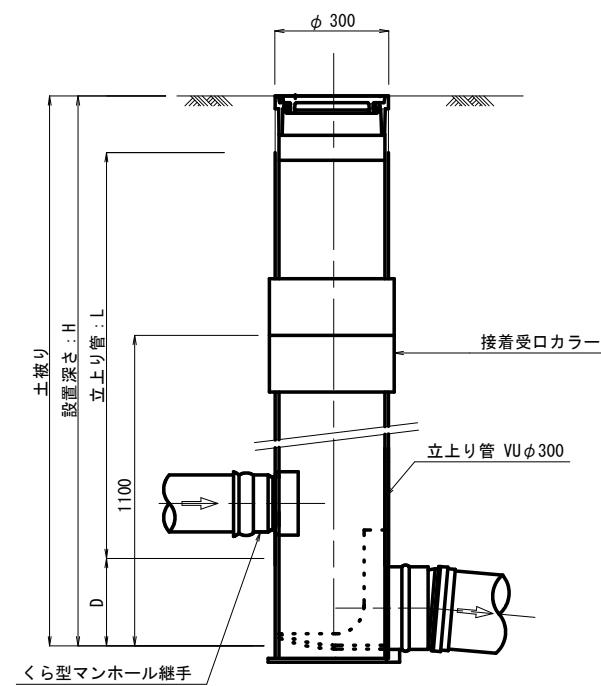
# 小口径塩ビマンホール標準構造図 縮尺 1:10

## 落差部

### 平面図

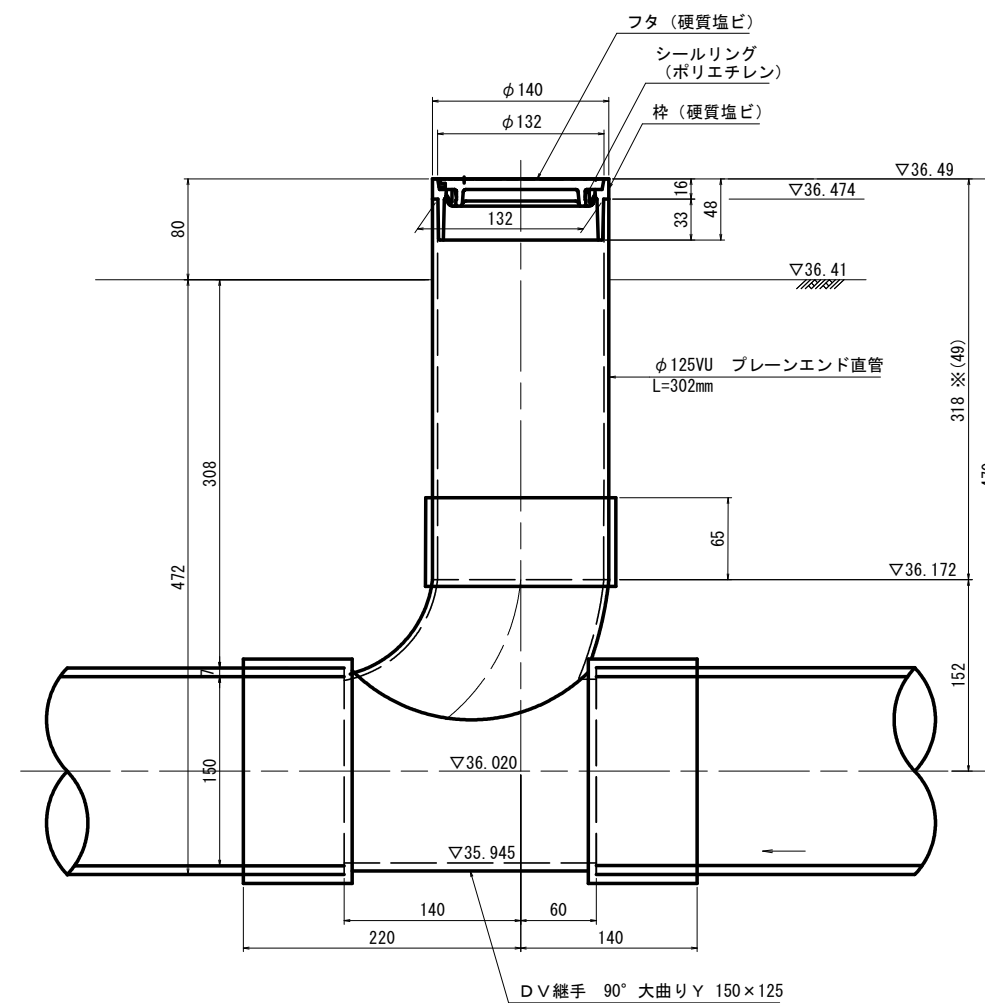
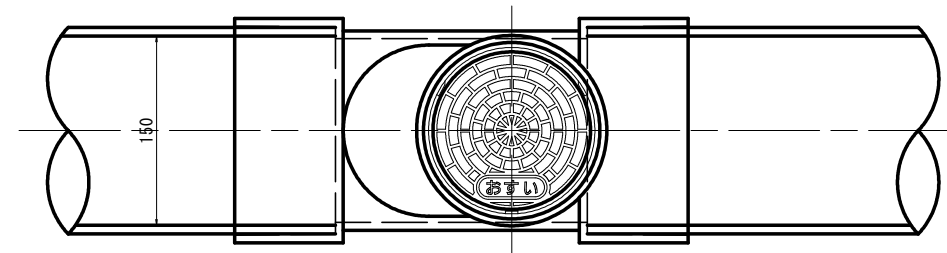


### 1-1断面図



# 8005-2路線部 詳細構造図

## 点検孔 No.1 詳細図 S=1:3

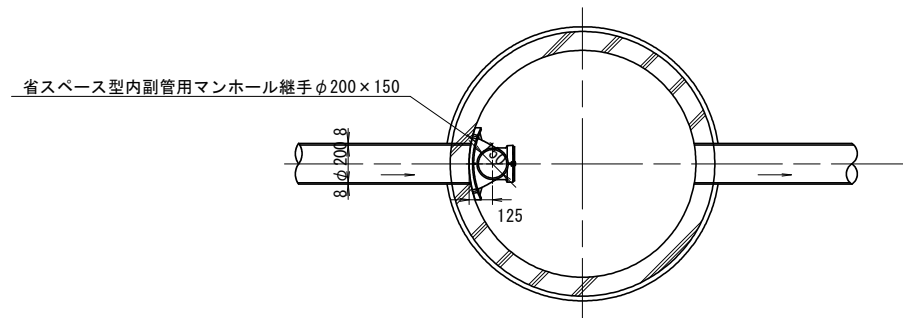


工事名	海老名市杉久保北三丁目地内		
工事箇所	海老名市大谷南五丁目ほか地内		
図面名	小口径塩ビマンホール標準構造図 8005-2路線部 詳細構造図		
縮尺	図示	図面番号	4/8
設計	写図		
海老名市 まちづくり部 下水道課			

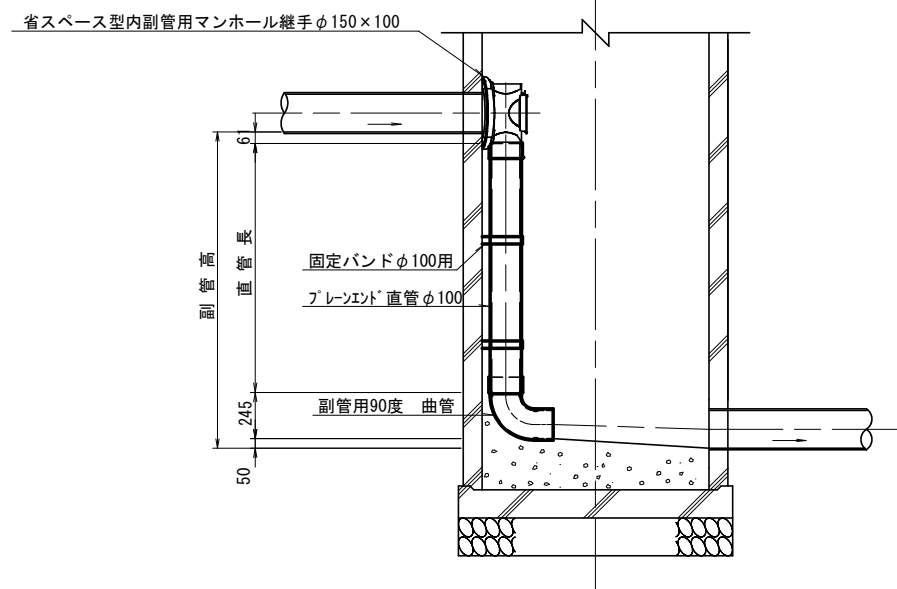
副管標準構造図 縮尺 1:20

内副管構造図

平面図



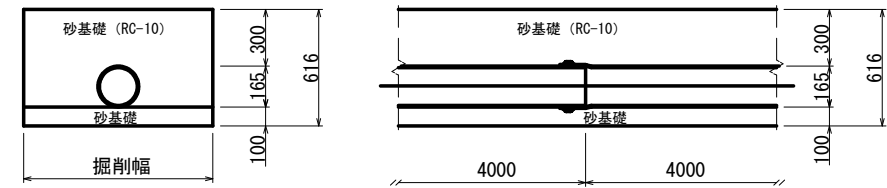
断面図



硬質塩化ビニル管基礎標準図 縮尺 1:20

断面図

縦断図

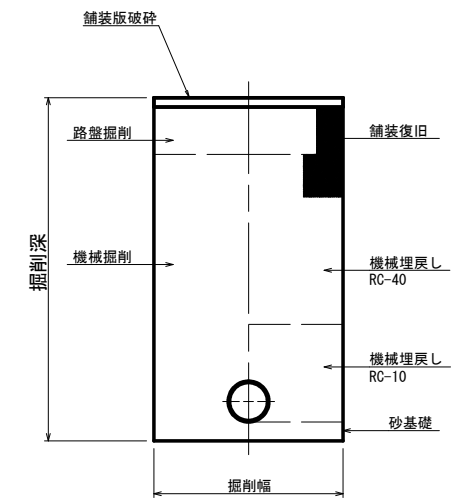


土工標準図 縮尺 1:20

本管

(塩ビ管φ150)

掘削 埋戻し



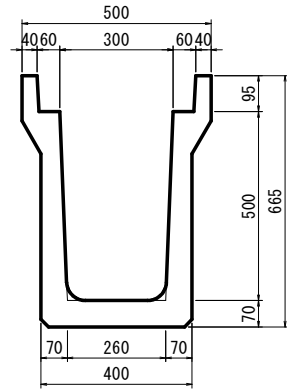
工事名	公共下水道39分区枝線工事		
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内		
図面名	副管標準構造図、土工標準図、硬質塩化ビニル管基礎標準図		
縮尺	図示	図面番号	5/8
設計		写図	
海老名市 まちづくり部 下水道課			

# 既設落ち蓋式U字型側溝構造図 縮尺 1:10

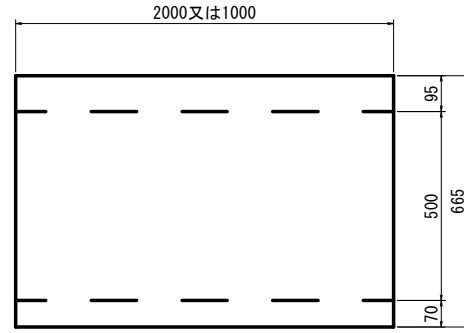
1種

本体

側面図



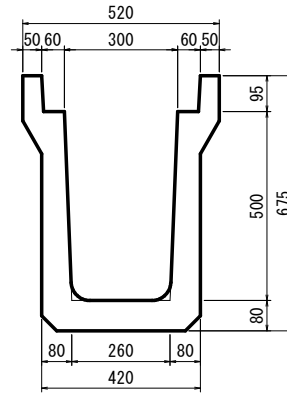
正面図



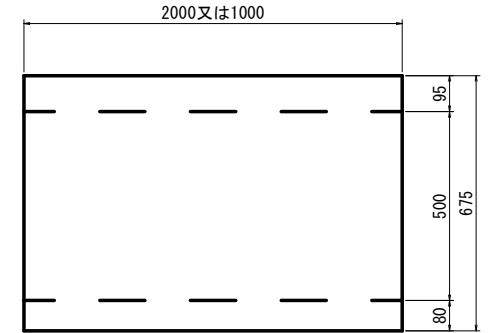
3種

本体

側面図

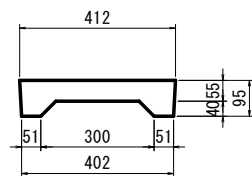


正面図

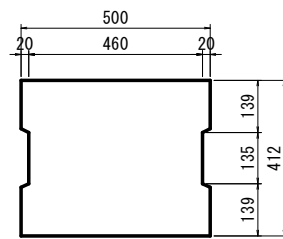


蓋

側面図

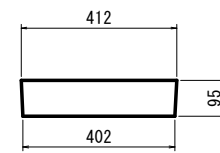


平面図

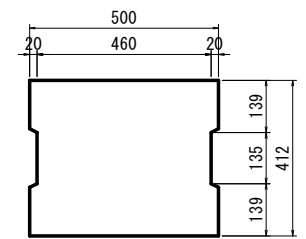


蓋

側面図



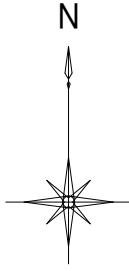
平面図



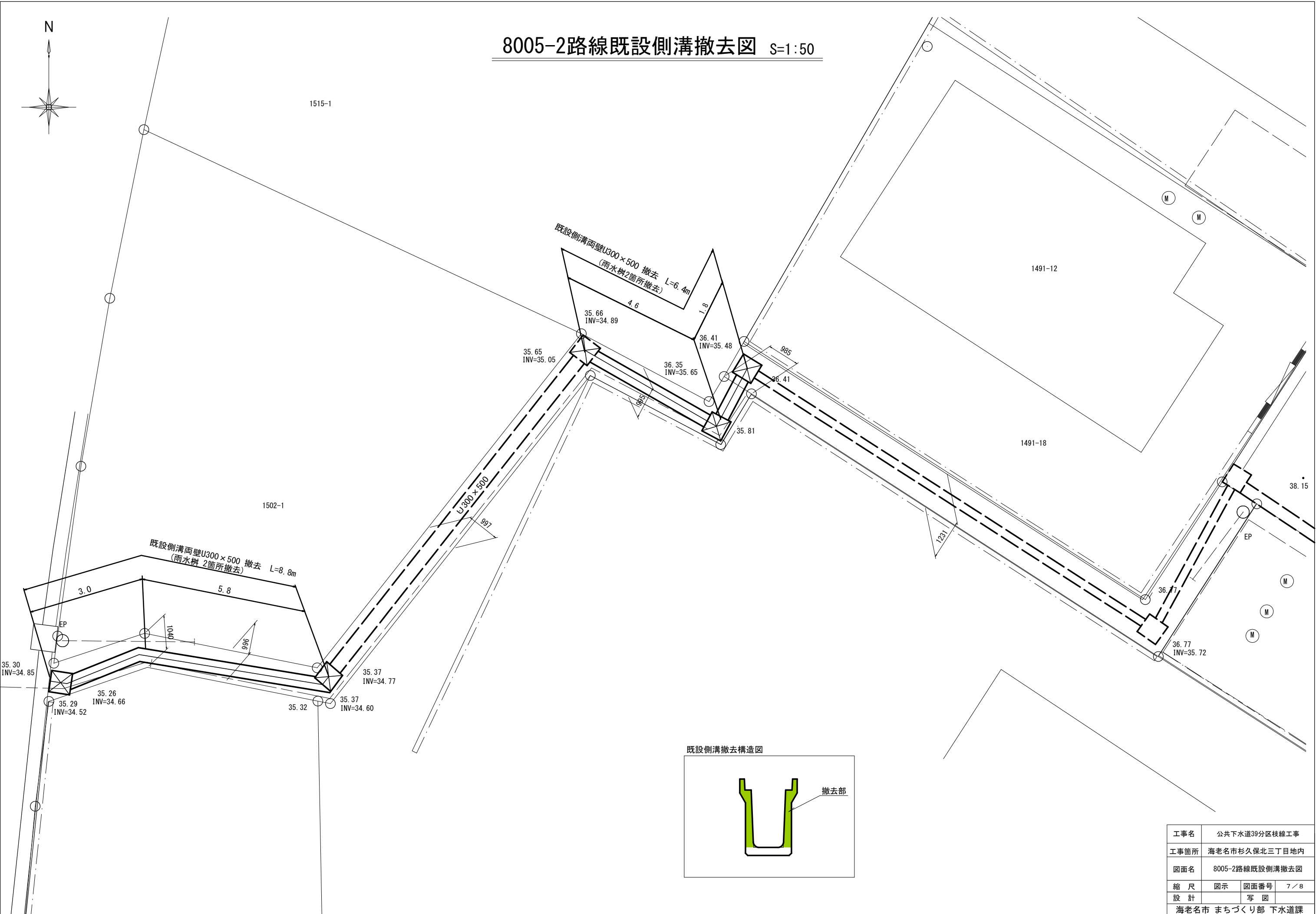
※ 神奈川県コンクリート製品協同組合準拠

工事名	公共下水道39分区枝線工事		
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内		
図面名	既設落ち蓋式U字型側溝構造図		
縮尺	図示	図面番号	6/8
設計	写図		
海老名市 まちづくり部 下水道課			

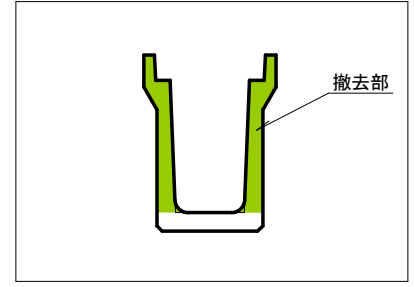
N



# 8005-2路線既設側溝撤去図 S=1:50



既設側溝撤去構造図



工事名	公共下水道39分区枝線工事		
工事箇所	海老名市杉久保北三丁目地内		
図面名	8005-2路線既設側溝撤去図		
縮尺	図示	図面番号	7/8
設計	写図		
海老名市 まちづくり部 下水道課			

# 8005-2路線復旧図 S=1:50

